

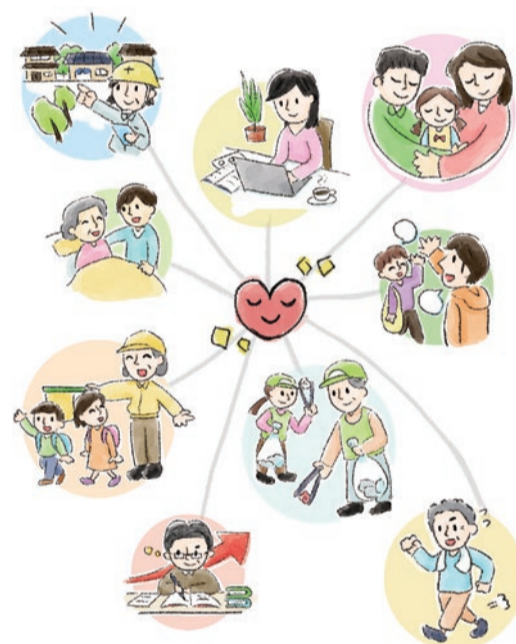
抜き取ってお読みください

魅力と活力あふれる京都を次の世代に 参加と協働による挑戦と改革

令和7年までの主要政策を明示する

はばたけ未来へ！ ^{みやこ}京プラン 2025 (京都市基本計画) を策定しました！

詳しく知りたい方は
こちら！



危機を乗り越え、魅力あふれる京都を未来へ

この計画は、2025年までの京都市基本構想の総仕上げとなる計画です。

20年前に策定された基本構想には、「産業や観光の伸び悩み」、「工場や大学の市外流出」、「文化の創造力と発信力の低下」、「都市の空洞化」など、京都が直面する当時の深刻な問題が書かれています。

しかし、京都人が千年を超えて大切にしてきた「めきき」「たくみ」「こころみ」「きわめ」「もてなし」「しまつ」の文化という6つの得意技をいかしたときに道は開ける、とも示されています。

これら京都の人々が大切にしてきた生き方を改めて見つめ直し、「小さな東京にならない」と覚悟を決めて、この間、様々な取組を推進。結果、京都の都市の魅力は大きく向上し、国内外からも高く評価され、文化庁の移転も決定しました。

これは、京都の誇る「地域力」、市民の皆様の「人間力」の賜物です。

今、京都は大きな困難に直面しています。コロナ禍、長年にわたって収支不均衡の構造が続いてきたことによる危機的な財政。この「2つの危機」を乗り越え、人口減少、貧困・格差、孤独・孤立、地球温暖化といった様々な社会課題に立ち向かうことが必要です。

誰一人取り残さない「SDGs」、あらゆる危機にしなやかに対応する「レジリエンス」の理念の下、市民の皆様への参加と協働による「挑戦と改革」によって、これらの課題を克服する。市民の皆様とともに築いてきた魅力あふれる京都を次の世代にしっかりと引き継いでいく。

この新たな基本計画の下、市民の皆様と夢や希望、危機感や責任感を共有し、明るい京都の未来を切りひらいてまいります。

結びに、御尽力いただいております市民の皆様へ心から御礼申し上げます。

京都市長 門川 大作



